

別記第6号様式

「福祉サービス第三者評価」を踏まえたサービス改善計画・実施状況

施設名	特別養護老人ホーム ケアコート武蔵野		施設番号	K 308
項目	評価結果に基づく現状分析 (平成30年度)	改善計画 (平成30年度末時点)	実施状況(予定を含む) (平成31年4月30日時点)	左記実施状況に実施予定が あった場合の実施状況 (平成31年4月30日時点)
ユニットケアの充実を図るために主導的な役割を果たす人材の育成について	新しい体制の下で今年度の施設運営がスタートを切った。限られた人数の中で職員も置かれた立場で、それぞれ頑張っており、利用者からもケアについては肯定的な評価が多く寄せられている。平成30年度の目標として掲げた施設の特徴であるユニットケアを充実させていくためには、施設では当面、組織体制をピラミッド型に構築して行く必要を感じている。現時点での人員体制を見直し、施設長の下で、相談・介護の面で施設長を支え、その分野に主導的な役割を果たす職員を早急に育成して行く事が必要である。	第三者評価時点では、9つのユニット、約40名の介護職員に対し、介護の責任者として副主任2人(ユニットリーダー兼務)がおり、その上が施設長という組織であった。その後、平成30年12月16日に介護統括責任者として係長を配置し、施設長を補佐し、ユニットケアを現場に展開して行くための主要メンバーとして業務に従事している。	1 実施済み 2 実施予定(平成 年 月ごろ) 具体的には以下のとおりです。	1 実施済み (年 月) 具体的には以下のとおりです。
職員・職種間の情報共有を深め支援の向上に繋げる取組みについて	情報や指示を各職員に伝え、それを確実に行うことが難しく、伝達ミスも若干みられる。平成29年度は職員の入替えが多少あり、職員間の連携が希薄であったことが要因の一つとなっている。また、職員アンケートからは職種間での情報共有が不十分であるとの声も上がっている。朝の申し送りや、記録の整備等は行われているが、その事項の一つのチームとして共有すること、また、共有できたかの確認をすることが職員間の伝達ミスを減らし、チームとしての連帯感も深まり、支援の向上につながると考えられる。	介護現場への情報伝達の方法は次の通り。 ①口頭で情報を伝える ②書面で情報を伝える 上記のような情報伝達において、最初に情報に接した職員は、所定のルールに従って情報を綴じたり、ノートに記録したりしている。 情報共有ミスが起こるのは、次の段階からであり、「①同じユニットの職員が情報を確認した場合、確認印を押すが、確認した内容を忘れてしまう。②他のユニットの職員が応援に入った場合、直近情報は申し送りノートを見れば把握できるが、古い情報までは分からない。③新しい職員が配属された場合に過去の情報量が膨大なためすべてを覚えられない」の3つが、伝達ミスの主な原因となっている。この事に対し、①ユニットに対する職員の固定配置を進める、②入居者個々の24時間シートを作成する事で、入居者個々の情報を一元管理する、の2点に取組んで行く予定である。	1 実施済み 2 実施予定 (令和2年3月末迄に実施予定) <具体的には以下のとおり> ①ユニットに対する職員の固定配置を令和2年7月頃より(一部)導入を開始し、年度末までに全ユニットに展開させる。 ②入居者全員の24時間シートのプロトタイプを6月中に完成させ、その後徐々に見直しを図り、令和2年3月末までに完成させる予定である。	1 実施済み (年 月) 具体的には以下のとおりです。
ケア記録の取り方をはじめとした、一定のケアの基準や方向性を具体的に示すことによる業務の標準化について	新体制の下での取組みの一つ、ケア記録の改訂として、24時間時系列に利用者の状態を記録する24時間チェックシートを導入する予定である。現在の介護記録の内容は、書き込む職員によって、それぞれ異なっている。利用者のその時の様子が分からないといったこともあるようである。常勤・非常勤・派遣職員とそれぞれ職員の雇用形態が違う為、ケアへのバラツキもみられることから、記録の取り方などをはじめとした、ケアに対する一定の基準を決め、業務の標準化への取組みが必要と考えられる。	入居者の介護・看護に関する情報や、入居者個別の生活リズムに基づく要望を、24時間シートに記載することで、ケアの水準を一定に保つ取組みを行う予定である。 <ユニットケア導入の取組み> ①H30/8/29～8/31 全体会(ユニットケアの説明) ②H30/11/7～11/9 ユニットケア管理者研修(平尾)参加 ③H31/1/9～1/11 ユニットケア管理者研修(森岡)参加 ④H31/3/5 ユニットケア研修フォーラム(管理栄養士) ⑤H31/4/3～4/5 全大会(ユニットケアの理解) ⑥H31/4/22～4/26 24時間シート勉強会(介護職向け)	1 実施済み 2 実施予定 (令和2年3月末迄に実施予定) <具体的には以下のとおり> 入居者全員の24時間シートのプロトタイプを6月中に完成させ、その後徐々に見直しを図り、令和2年3月末までに完成させる予定である。	1 実施済み (年 月) 具体的には以下のとおりです。

※この様式は、「平成30年度東京都特別養護老人ホーム経営支援補助金交付要綱」の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価(又は利用者に対する調査)の結果は、施設において公表しているほか、「とうきょう福祉ナビゲーション」によりインターネットでも閲覧できます。